

2026年3月1日(日)午前 11:30 から CRT スタジオで収録

社会に出てからも役立つ、「効果の上がる学習方法」を考える

開倫塾
塾長 林明夫

<はじめに、おれいのことば>

この番組は、社会に出てからも役立つ、「効果の上がる学習方法を考える番組」です。

本日の放送で、番組開始から、40年目に入ります。今まで、この番組をお聞きくださいました。

視聴者の皆様、お一人お一人に、心から感謝いたします。ありがとうございました。

Q 社会に出てからも役立つ、「効果の上がる学習方法」とは何ですか

A (1) 「学習効果」は、次の「掛け算」で決まります

「学習効果」＝「学習時間」×「学習方法」

(2)①「掛け算」ですから、一方が少ないと、よい結果は出ません

②「学習方法」がよくても、「学習時間」が少ないと、よい結果は出ません

③「学習時間」が多くても、「学習方法」がまずいと、よい結果は出ません

(3)①このように、「効果の上がる学習方法」で大切なことは、2つです

②「学習時間を確保すること」と「学習方法(勉強の仕方)を工夫すること

③この2つを、同時、並行して行うことに尽きます

Q 「学習時間を確保」するには、どうしたらよいでしょうか

A (1)①お手本は「二宮金次郎」です

②「二宮金次郎」は、山から薪を運ぶ道すがら、「大学」という本を読んで、自分のものとして身に着けたと、伝えられています

③いつ、どこで、どのように勉強したらよいかを、「二宮金次郎」を「お手本にして考え実行すること」をおすすめします

(2)①よく考えれば、「学習時間」は、いくらでも工夫して、作り出すことができます。

②朝早く起きて、机に向かう。学校から帰って、夕食まで机に向かう。夕食を済ませ、眠るまで机に向かう

③土曜や日曜日、休日は、朝から、夜寝るまで、時間があつたら、机に向かう

(3)「勉強する時間を減らすこと」は、なるべくしないようにする

①スマホを手にする時間を減らす

②「勉強がよくできない、成績が上がらない」と、くよくよ悩む時間を減らす(いくら悩んでも成績は上がらないので、悩む時間は30分までにする)

③喧嘩をして、イライラしている時間を減らす(喧嘩をしても、すぐ仲直りする)

○忘れ物など、「ものを探す時間」を減らす(整頓…物は、同じところに置く)

Q 学習方法を工夫するポイントは何ですか。

A (1)「予習の仕方を工夫する」

- ①「教科書を読み、意味や読み方のわからない語句は、辞書を用いて調べる」・「辞書で調べたことは、各教科の意味調べノートに書き写し、その場で覚える」
- ②「教科書を声を出して、スラスラよく読めるようになるまで、音読練習」
- ③算数や数学などの「計算や問題」は、ノートに書き写し、自分の力で解いてみる
- 「何が分からないかを、はっきりさせて、授業に臨む」ことが「予習」では大切

(2)「授業の受け方を工夫する」

- ①「手を机の上に置き、先生の顔、口元を見て、しっかりお話をお聞きする」
- ②・大切なことは、しっかりノートをとる(メモする)
 - ・大切なことを、ノートが取れるのは、極めて高い言語能力があることを意味します
 - ・社会に出て、大事なことは、大切なことをメモし続け、仕事に生かすことです
 - 「仕事はメモで身に着ける」といわれるほど、社会に出てからは「メモが大事」です
- ③わからないことがあれば、まずは、自分でよく調べ、十分に考えてから、授業中、または、授業後、先生にご質問

(3)「復習の仕方を工夫する」

- ①「教科書」「授業ノート」をもう一度、ていねいに、学びなおす
 - 「ノート整理」「意味や読み方(発音)が分からない語句は辞書を用いて調べる」
- ②「教科書」「ノート」を「声を出して読む(大切なことは暗唱)」
 - 「書き取り練習(暗記・暗写)」「計算・問題練習」
- ③「教科書」「ノート」はスミからスミまで覚え「テストでよい点数・合格点を取る」
- 「定期試験」「検定試験」「入学試験」など、大事なテストの前には、過去に出題された問題(5～6年分)を、じっくり解き、弱点分野をしっかり勉強し直す

Q 最後に一言どうぞ。

A (1)「学習の効果」とは何か。「学んだことを、自分のことばでいえる(表現・説明できる)こと」と考えます

(2)「学生時代に学んだこと」と、「社会に出てから学んだこと」を、「自分のことばでいえる(表現・説明できる)こと」を、「学習の効果」「学んだことの結果」として「目指していたきたく希望いたします

////////////////////////////////////

○学校で学んだこと、社会出てから学んだことのすべては、皆様のお役に立ちます。ですから、学校の教科書や授業ノート、辞書・地図帳・歴史年表、社会出てから学んだテキストは、処分しないで、きっちり保存・とっておき、折に触れ「学び直す」。「武士の刀」と同様に、いつでも「使える」ようにしておきましょう。刀がさび付いたら、いざというときに、刀を抜いても、役には立ちません。学校や社会で学んだ「テキスト・教科書」を、折に触れ、学び直す」。そして、自分のものとして、いつでも使えるようにする。「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)」ためには、一度学んだ教科書やテキストは、捨てずに身近に保存、折に触れ

